



学校通信

夕陽丘

第41号



【校長挨拶】

ALL 夕陽で 夢と志の実現に向けて

校長 恩知 理加

4月1日に杉山校長先生の後任として着任しました校長の恩知理加です。どうぞ宜しくお願いします。

私は、平成22年度までの13年間夕陽丘で教員として勤務し、5年ぶりにもどってきました。夕陽丘はとても多くの人から愛されるとともに、もっとも入学したいと思われる学校の一つです。私が「夕陽」という名前を出すと、周囲の皆さんが「私の祖母が、私の夫が、私も実は…」など、絶対に夕陽の関係者を見つけてこられます。

1ヶ月少し経ち、毎日毎日、生徒の皆さんの活躍の様子をみて喜び、充実した日々を送っています。いくつか紹介したいと思います。

- ・海外語学研修「KAKEHASHI プロジェクト」で、ニューヨークのクラークスタウン高校の発表会「Japan Night」で、浴衣の着方や日本の旅館でのおもてなしなど文化について流暢な英語で披露した皆さん
- ・体育祭結団式で体育祭への意気込みと仲間へのエールを送った8人の団長の皆さん
- ・創立記念講演で、劇団四季の苫田亜沙子さんにインタビュー・お礼の言葉・共演してくれた皆さん
- ・廊下のホワイトボードを活用して熱心に先生のレクチャーを聴いている皆さん
- ・毎日クラブ活動に汗を流している皆さん、校門で挨拶してくれる自治会の皆さん などなど



本校は、明治39年に大阪府立島之内高等女学校として創立されて以来、「豊かな情操と気品のある人材の育成」を校訓とし、その時代時代の社会的ニーズに応えながら、一世紀もの年月を超えて発展し続けてきました。平成7年に大阪府内の公立高校で唯一設置された音楽科は、昨年度20周年を迎え、来年度には学校創立110周年を迎えます。

本校の「めざす学校像」は次の4点です。教職員一同、目標を共有し、実現に向けてスタートを切りました。

- 1 **一人ひとりの進路希望を実現できる学力を身に付ける。**
自己の将来ビジョンを明確にし、進路実現のための確かな学力と実行力を身につける。
- 2 **自ら考え行動できるように、自主自律の心を養う。**
学校行事や部活動、ボランティア活動等に積極的に取り組み、自ら主体的に考え、粘り強く行動できる生徒を育成するとともに、友達と協同して課題を解決する力を身に付ける。
- 3 **国際交流体験を通して、自己発見と他者理解を深める。**
海外研修を通じて、国際感覚を磨く。また、海外の学校や留学生を積極的に受け入れ、交流を推進することにより、グローバル人材の資質・能力を身につける。
- 4 **国内最高レベルの音楽教育を推進する。**
国や府の推進事業等を積極的に活用し、音楽科の講師とも一体となり、最高レベルの音楽教育を推進することにより、生徒の音楽的才能を開花させる。

発行 〒543-0035 大阪市天王寺区北山町 10-10 大阪府立夕陽丘高等学校
 TEL 06-6771-0665 FAX 06-6771-6267 E-mail: z-yuhigaoka@sbox.osaka-c.ed.jp
 ホームページ <http://www.osaka-c.ed.jp/yuhigaoka> (題字 森 敏行先生)

現在、国では、新しい時代にふさわしい教育のあり方について話し合いが進められています。具体的には、高等学校や大学の授業へのアクティブ・ラーニング（能動的学習）の導入や大学入試センター試験にかわる新テストの導入など、日々の授業や入学試験が知識重視型から知識活用型へと変わっていきます。テストの導入は、東京オリンピック・パラリンピック開催の2020年度からですが、生徒の皆さんには先駆けてこれからの時代に通用する「本物の力」をぜひ身に付けてほしいと考えています。

本校教職員は日々、全力で教育活動に当たっている素晴らしい集団と自信をもっています。皆さんの期待や願いに応えるよう、取り組んで参ります。どうか、保護者の皆様方には、本校の教育方針をご理解いただき、子どもたちとともに教育活動に関わってくださいますようお願いいたします。

それでは皆さん、ALL 夕陽で夢と志の実現に向けて頑張りましょう。

【第三学年】

最後の1年を過ごすにあたって

第三学年主任 井上 恭

68期生の皆さん、早いもので君たちもう3年生です。夕陽丘で過ごす3年間の最後の1年を迎えました。この最後の1年をどのように過ごすかで将来は大きく違ったものになります。自分の目標に向かって最後まで努力を継続することができた人は、希望する進路を実現することができるでしょうし、努力を怠ったり最後まで継続することができなかつたりした人は、進路に必要な学力と自分の実力とのギャップに苦しむことになるでしょう。中には最後まで継続することができなかつたのに希望を実現することができる人もいるのですが、そんなケースは少ないでしょうし、その少ないケースに賭けることはできません。地道に努力することが最良の選択であることに間違いはありません。どうか挫折することなく努力を継続して行ってほしいと思います。

さて、これから1年にわたり努力を継続するにあたって君たちに知っておいてほしいことが3つあります。

1つ目は、主体的に行うということです。授業や講習で新しい考え方を先生が伝えたとしても、君たちが自分で考え、自分で解き、自分で反復して覚えるという行為をしなければその考え方は決して身につかないからです。

2つ目は、授業を大切にということです。理科や社会については違う面もありますが、国語、数学、英語の3教科の授業は1年からの授業の延長線上にあり、総合力を試す場面が多く、入試に直結する内容になっています。授業をおろそかにしておきながら一方で自分なりに受験対策をしている人がいるとすれば、その努力の方向性は間違っていると言えます。

3つ目は、努力は一旦始めたら最後まで継続することが大切だということです。途中で止めてしまった場合、実力はその時点以上には上がらないどころか、どんどん下降していきます。新しい知識や考え方は、使わなくなるとどんどん忘れていってしまうものであるからです。

1年間最後まで努力を継続するという事は難しいことです。ときには挫折したりうまくいかずに悩んだりすることもあるでしょう。しかしながら、確固たる目標を持っていれば必ず乗り越えることができます。自分の目標について日々考え、できる限り具体的な目標にしておくことも努力の継続には大きな力となるでしょう。なかなか大変な1年ですが、努力が大きければ大きいほど得られる果実も大きいはずで、68期生の全員が最後まで挫折することなく努力を継続し、希望の進路を実現してくれることを願っています。



【第二学年】

ひとりじゃ、つukれない

第二学年主任 草間 義彦

2年生は、5月1日の「校外学習」で、京都「嵐山・高雄パークウェイ」へ行きました。嵐山からバスで15分ほどで、観光での賑わいから離れ自然豊かな場所へと。新緑に包まれた木立のサイトと菖蒲池横の水辺のサイトの2箇所に分かれてバーベキューをしました。各班、焼肉、焼きそば、ピザなど自分たちで考えたメニューを楽しみました（ほとんどの班が、出発ぎりぎりまで食べていました）。炭に火がなかなかつかなかったり、食材を多く買い過ぎたりと、小さな失敗はありましたが、前日の買い出しから良い経験になったのではないのでしょうか。帰りは、クラスごとに分かれ、3つの展望台へ寄りました。京都市内が一望できる場所や保津峡、トロッコ列車が見下ろせる場所など、絶景に歓声が上がっていました。



メニューを考え、食材を購入し、調理、そして後片付けと班員全員が協力しなければ、楽しい行事にはなりません。人の為に行う行為、それは自分に返ってくる行為なのです。

ジョン・レノン「結局、あなたが受け取る愛はあなたが与える愛に等しい」と言っています。周りへの思いやり、気遣いを忘れずに、これからの行事も取組んで欲しいと思います。

さて、2年生は高校生活をおもいきり楽しめる1年でもあります。3年生での受験へ向けた、準備期でもあります。「将来何がしたいのか」から大学さがしを始めよう。そのためには、まず自分は何をしたいのか？あるいは、何に興味をもっているのか？何が好きなのか？を明確にすることです。その為には、色々な事を「見、聞き、感じる」ことが必要です。そうした経験の中から「自分」を発見できるのではないのでしょうか？今この時期に体験するに事に無駄な事はありません。嫌な事も良い事も全部、これからの人生の肥しとなります。受け身ではなく、自らの能動的に動くことで、より実のあるものになります。一つ一つの体験を大切にしてください。2年生での学年目標は、「充実した高校生活をめざし、3つのがく力（学力・楽力・額力）を身につけよう」です。この3つの力を身につけ、来年へつながる1年にしましょう。

【第一学年】



響き合う 70期

第一学年主任 植松 健一郎

人は決して一人では生きていけません。一人で生きていると思っても、実は様々な人と関わりをもちながら生きています。高校生の3年間は、大人の社会に出ていく最後の準備期間です。そこで出会う人たちと、できる限り積極的に関わって、力を合わせる経験、何かをつくり出す経験を重ね、自分も周りの仲間も成長する、そして、それを支える教員集団も成長する。そのようにお互いが高みを目指して協力し合う姿勢、それが学年スローガン「響き合う 70期」です。

さて、1年生は、5月1日から一泊二日で宿泊研修を行いました。この研修は、クラスの仲間と研修のプログラムに取り組むなかで、三年間の高校生活を豊かなものにするきっかけをつかむことを目的に実施されました。

1日目、午前中は講演とオリエンテーションを行いました。KDDIの方にいただいた講演では、SNSやインターネットの潜む危険性について学びました。午後は約2時間の自習と、その成果を確認するテストに臨みました。自習時間は全く私語がなく、学習に集中できていました。夕食後はクラスワーク。クラスの目標を班で話し合い、その結果を報告し、クラス討議でまとめていきました。どのクラスも一生懸命かつ楽しそうに討議をしていました。

2日目は、出発までの時間、校歌の練習を行いました。前回、体育館で練習した時よりもずっと大きな声で斉唱できました。その後、白浜荘に移動して、全体レクリエーションとバーベキューを楽しみました。〇×クイズは、特活委員のみなさんが企画、運営してくれました。バーベキューは、火のつきにくかった班もありましたが、準備から後かたづけまで、班の中でしっかり協力できていました。予定していた時間内に終わることができたのはすばらしかったと思います。

2日間を通して、みなさんは一つひとつのプログラムにしっかりと取り組み、多くのことを得ることができました。その成果が出るのはこれからです。この研修で得たものを、今後の高校生活に活かしていけるかどうかは、みなさん次第です。学習の面でも、仲間との活動の面でも、研修の前よりもステップアップした姿を期待しています。



【教務部】

なぜ学ぶのか

教務部主任 岩元 健

どうして大学に進学しなければならないのか。なぜ学校に通う必要があるのか。ふと疑問に思ったことはありませんか？ある意味で、学ぶということは、第一義的には職業に就くための基本的なスキルを身につけることといえるでしょう。しかし、人生は職業だけではありません。いい大学に入って就職すれば将来は保証される。もうそんな時代ではありません。一生勉強し続けなければ先はないと思ったほうがいいでしょう。

では、何を、どう勉強すればいいのか。本来勉強は「自分が主体となって、取り組まないといけない」ものです。宿題で「これを解きました。覚えました。」ということも勉強のうちでしょうが、人に（先生に）これをしなさい、あれをしなさいと、指示されてする勉強は、本当の勉強じゃない。日々何をどう勉強するか自分のスタイルを確立することが必要なのです。高校生である君たちには、

受験という当面の課題がありますが、「学ぶ」ということに対してもっとどん欲な姿勢をもって欲しいです。君たちに今欠けているのは、このどん欲さじゃないかと思います。何か興味をもったことや疑問に思ったことを自らの意志で更に深めていく、そんな学びの姿勢を身につけて欲しいのです。他人と比較する必要もありません。自分が本気になれるものにとことん取り組めるようにならないといけないのです。そのために、高校で習うくらいことは、受験に必要である・ないに関わらず、すべて一通りしっかり勉強しておく必要があるのです。その練習・訓練をするところが学校なのです。これから社会に出ても、絶えず自らを省みて、学問を究め続ける。併せて、身体を鍛え、こころを磨き、人の痛みや社会の問題を敏感に感じとり、闊達な対話を大切にする。豊かな人生を楽しむ大人になるために。

偶成 朱熹

少年易老学難成
一寸光陰不可輕
未覺池塘春草夢
階前梧葉已秋声

少年老い易く学成り難し
一寸の光陰軽んず可からず
未だ覚めず池塘春草の夢
階前の梧葉已に秋声



【生徒指導部】

平成27年度年間目標

新学期が始まりました。生徒指導部が掲げる目標は充実した学校生活を送る上で、基礎となるものです。日々常に意識しながら学校生活を送りましょう。

1 遅刻者数の減少を目指す

年間遅刻件数を2200を切ることを目標とします。昨年に引き続き、早朝登校指導、遅刻常習者への徹底指導を行います。特に遅刻が増加する3年生、きちんとした生活習慣が進路実現を可能にします。

2 夕陽生としての誇りと自覚を持つ

挨拶の励行、いろんな場面での夕陽生としての凛々しい態度を心がける、思いやりのある行動をする、標準着用時は正しい着用を心がける等、社会でも常識として求められることをきちんと行いましょう。良くも悪くも自分の行動が夕陽生としての評価に直結していることを自覚してください。

3 校則の遵守

特にしっかり守ってほしい項目は、頭髪には一切手を加えない、ピアス、化粧、マニキュアをしない、携帯電話に関するルールです。一部の心ない生徒のために、ルールが厳しくなることもあります。社会に出ても、何の制限もないところなどありません。他人はどうであれ、自分はルールをきちんと守ることを自覚してください。

生徒、教職員、夕陽丘高校に携わっているすべての人が、気持ちよく安心して学校生活を送ることができるようにみんなで協力していきましょう。

【国際交流委員会】

“We Are Earth People”

今はグローバル時代です。それぞれの国が独立して存在しているのではなく、私たちはみんな地球という大きな1つのコミュニティーに住んでいる「地球人」であるという、グローバリズムの考え方が主流になりつつあります。これからますます、国と国との垣根を越えてコミュニケーションを図る必要が増えていく中で、人種や国籍によって人を判断するのではなく、「その人自身を見る」、そういう感覚を持つことがより一層求められます。「国際交流」の意義はそこにあると考えています。

夕陽丘では国際交流活動の一環として、異文化に触れるさまざまな機会を提供しています。その1つが、今年度実施予定の海外語学研修です。今回の研修場所は、アメリカ、ニューヨークです。本校と姉妹校提携を結んでいるクラークスタウン北高校での語学レッスン、ホームステイを予定しています。日程は来年3月末です。詳細が決まり次第お知らせしますので、楽しみに！

《4月の活動報告》

4月24日（金）の放課後、4月から夕陽丘で勉強することになった、ニュージーランドからの留学生ルーベン、フィンランドからの留学生キムの歓迎会と、3月末に実施されたKAKEHASHI Project（アメリカ研修旅行）の報告会を行いました。たくさんの人たちが参加してくれ、にぎやかな会となりました。



KAKEHASHI Project に参加して

2年 村上 萌

私は KAKEHASHI Project に参加して、「自分はまだほんの一部のことしか知らないんだな」と感じることができました。アメリカに行くこと自体が初めてだったので、訪れる場所すべてが新鮮ですごく興味を持って見学し、よい経験ばかりでした。

ニューヨークでのホームステイや授業体験では文化の違いを身をもって感じました。クラークスタウン高校の授業では、まずパワーポイントを主に使って授業を進めていました。もちろん黒板のようなものもあるのですが、ほとんど使わないことに驚きました。また日本でのお昼休憩がないので、授業中にご飯や軽食、飲み物を飲むのが当たり前らしくて、これにも驚きました。日本ですると怒られることなので、文化の違いは面白いなと思いました。学校に通学するときに乗ったスクールバスにも面白いルールがあり、乗ることで楽しかったです。ホームステイではさまざまな生活文化を体験させてもらいました。ウェルカムケーキを用意してもらったり、いろいろとよくしてもらい、よい家族にめぐり合えて本当によかったです。

シアトル、ニューヨーク、サンフランシスコを訪れることができ、たくさんの人と出会い、交流し、お世話になり、何人かの人たちとは友達になることができました。2週間という短い期間でしたが、毎日充実した経験ができ、本当によいチャンスをもたらえたと思います。特にホームステイでは通訳もない本当に英語しか使えないという経験をして、「自分の英語力をもっともっと磨いていきたい！」と心から思う

ことができました。これを機会に英語がよりいっそう好きになりました。これからは「英語」に抵抗を覚えず学んでいこうと思います。



【音楽科】

放課後のひととき ヴィオーラホールに音楽を聴きに来ませんか？

本校は、府内で唯一音楽科のある公立高校です。年間を通して様々な音楽行事やイベントがあります。例えば《特別公開講座》では、国内外の舞台上で活躍する著名な演奏家をヴィオーラホールにお招きして、演奏会を催しています。また、演奏を聴くことができるだけでなく、演奏者への質疑応答ができることもあります。在校生だけでなく保護者の皆様もご参加いただけますので、放課後のひととき、ぜひヴィオーラホールに音楽を聴きに来てみませんか。(在校生・保護者は事前申し込みも不要です)

～今後の予定～

- ◆6月13日(土)ピッコロコンチェルティスタ～学内演奏会～ ヴィオーラホール 12時開演
在校生が出演できます。ヴィオーラホールでクラシックの演奏をしてみたい人は、各学年の音楽教員まで相談してください。申し込み〆切は5月13日(水)17時です。
- ◆7月9日(木) 特別公開講座 ヴィオーラホール 16時開演
日本を代表するテノール～福井 敬さんをお招きして
福井敬氏プロフィール：ジロー・オペラ新人賞及びオペラ賞、出光音楽賞、エクソンモービル音楽賞本賞、等受賞多数。NHK ニューイヤーオペラコンサートなどテレビにも多数出演。国立音楽大学教授。東京芸術大学非常勤講師。二期会会員。

☆☆★★★☆☆★★★☆☆★★★☆☆★★★☆☆

創立記念講演 劇団「四季」 苦田 亜沙子氏 (53期生) をお迎えして

『夢を追う力』

創立記念特別講演として、劇団「四季」の「オペラ座の怪人」、「美女と野獣」など数々の舞台で主演を演じていらっしゃる女優 苦田亜沙子氏 をお迎えしました。

音楽科のオーケストラ伴奏の中、有志のコーラスと共に「tonight」を歌う苦田氏の伸びやかな歌声が体育館に響き渡りました。私たちは、一瞬にしてウエストサイド物語の世界へ導かれていきました。

講演では、「高校時代は夢を持っていなかった。目標を設定すると、自分に限界を作ってしまうから」という夢に対する持論を述べられました。また、学生時代もプロになってからも「その日の課題はその日のうちに課題以上のことをする。今できることを精一杯やって、足跡を残していく」という姿勢は崩していないということも話されました。この言葉は、多くの生徒の心を捕らえたようです。さらに、「大切な友達や尊敬できる先生と出会ってほしい」、「勉強をしっかりすること。芸能の世界に入ってから学生時代の勉強は生かされているから」「失敗を恐れず、様々なことにチャレンジしよう。後悔は、失敗よりもチャレンジしなかったことに向けられるから」という3つのメッセージを後輩に託されました。

「Think of Me」、「Home」、「For Good」と、再び素晴らしい歌声を聞かせて下さり、最後は全員で校歌を合唱して講演は終わりました。私たちにさわやかな感動を残して下さった講演でした。